

新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりのもと、国による緊急事態宣言や大型の補正予算を初め、各種の取り組みが行われてきたところであります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症との闘いは長期化することが見込まれており、さらには、個人消費の大きな落ち込みにより、内閣府が公表した直近の国内総生産の速報値において戦後最悪の下落であると報告されています。

今後さらに厳しい状況に陥ることも予想されることから、より一層の対応が必要であります。

よって、国におかれましては、下記の事項について強く要望いたします。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大への的確な対策を行うため、全国の感染状況を分析するとともに、PCR検査の拡充等について、国として制度を整備すること。
- 2 医療機関や社会福祉施設等の従事者への対応として、防護服等の資器材の確保や備蓄を計画的に行うとともに、重症化リスクの高い人が多い医療機関や介護施設等の職員に対するPCR検査を含む各種検査を定期的を実施することについて、国の検査戦略に位置づけること。
- 3 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気低迷に伴い、国税や地方税について大幅な減収が見込まれることから、地方自治体の財政運営に支障を来さないよう、必要に応じて適切な財源措置を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年9月25日

北海道江別市議会

提出先
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣
厚生労働大臣